

昭和初期の香り漂う県庁舎別館。
近代における山梨ゆかりの人物の
功績などを紹介しています。



旧知事室

残された当時の家具類
や写真などから、創建
時の知事室の内装を
復元しました。
昭和初期の香りを感じ
てください。



県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰
囲気を感じられる空間としました。
中央のモニターで県政の歴史などをご覧
いただけます。【中央のモニターは休止中】



3階 正庁

県庁内の特別な行
事を行う場所です。
残された写真から
当時の姿に復元し
ました。
年間10回程度講座
等も開催します。



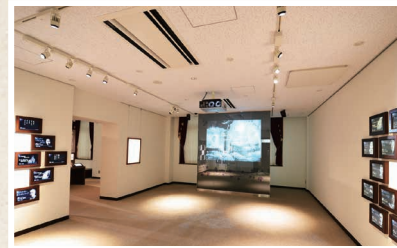
人物紹介室

テーマに沿って9人の
人物を詳しく紹介しま
す。中央では、近代化の
象徴である中央線笹子
トンネルの歴史を映像
で紹介しています。



子ども向けコンテンツ 「ふるさと人物伝」

キャラクターとなった人物の
クイズを楽しみながら人生
の転機などが学べます。
【休止中】



導入展示室

導入映像とともに50人の人物が皆さま
をお迎えます。人物の功績や人物が残
した言葉などをお伝えしています。



現在、新型コロナウイ
ルス感染拡大予防
対策として、タブレ
ット端末など接触を伴
う展示の一部を休止
しております。

2階展示施設

情報展示室

50人に関連するその他の人
物や、人物ゆかりの地など、
様々な情報を検索できます。
【休止中】

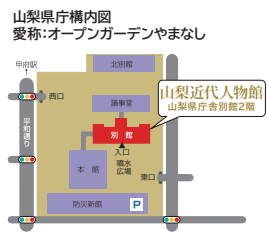
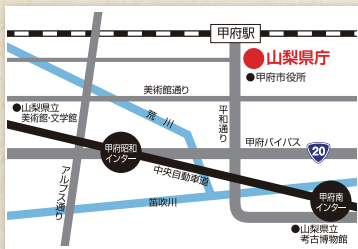
Information

開館時間／午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)
休館日／毎月第2・第4火曜日
その他展示替え等により臨時に休館する場合があります
入館料／無料

山梨近代人物館

The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991
<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>



防災新館地下駐車場をご利用ください。(駐車無料)

第13回展示

2021年4月1日(木)～2021年9月27日(月)

最新の情報はホームページでご確認ください。

県庁舎別館展示施設

山梨近代人物館

創建時の姿によみがえった県庁舎別館において、
近代山梨の発展に貢献した人物や県政のあゆみについて紹介しています。



山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物50人の中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。

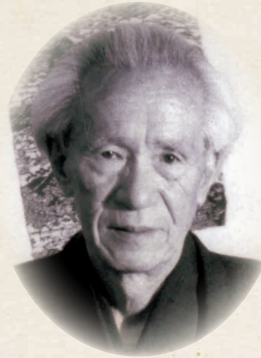
第13回展示 海外との懸け橋となった人々

山梨から海外に、そして海外から山梨に。わが国にとって「近代」という時代は、海外の国々との交流が拡大し、多くの文化がもたらされた時期でした。海外の文化や人との出会いは、当時のわが国の社会にどのような影響を与えていったのでしょうか。2回目のオリンピック・パラリンピック東京大会を迎える今年、山梨近代人物館では、海外との懸け橋となった山梨ゆかりの人々をご紹介します。



つちや りゅうけん
土屋 龍憲
(甲州市 1859~1940)

高野正誠とともに我が国最初のワイン醸造技術の調査のためにフランスへ留学。様々な技術を持ち帰り、山梨県の葡萄栽培やワイン醸造の基礎を築いた。



あさかわ のりたか
浅川 伯教
(北杜市 1884~1964)

彫刻家で朝鮮半島の陶磁器の研究家であり教育者。雑誌「白樺」などに陶磁器に関する論文を発表、「朝鮮古陶磁の神様」と称される。



あさかわ たくみ
浅川 巧
(北杜市 1891~1931)

林業技師であり、朝鮮民芸と陶芸の研究家。朝鮮半島の植林や朝鮮の民芸、陶芸の魅力を紹介した。



すぎうら ゆずる
杉浦 譲
(甲府市 1835~1877)

甲府勤番出身で、維新後に日本の近代郵便事業をスタートさせた。富岡製糸場の整備に尽力するなど、日本の通信や産業の近代化に大きく貢献した。



はに はら まさなお
埴原 正直
(南アルプス市 1876~1934)

外交官。外務次官、駐米大使の要職を務め、日本人移民問題を中心に日米関係の改善に尽力した。



なが みね ひでき
永峯 秀樹
(北杜市 1848~1927)

「アラビアンナイト」の紹介で知られる翻訳家。様々な海外の思想や文学の文献を訳し、近代日本の西洋文化の受容を推進した。



むらおか はなこ
村岡 花子
(甲府市 1893~1968)

モンゴメリ作「赤毛のアン」の翻訳で知られる翻訳家・児童文学者。来日したヘレン・ケラーの通訳を務めた。



はやかわ のりつぐ
早川 徳次
(笛吹市 1881~1942)

欧米で地下鉄事業を学び、東京地下鉄道を創立。関東大震災を乗り越え、日本最初の路線である浅草・上野間を開業した「地下鉄の父」。



ないとう たちゅう
内藤 多仲
(南アルプス市 1886~1970)

日本の耐震建築に発展をもたらした建築構造学者。多くの耐震建築や東京タワーなどの電波塔を手がけ、「耐震構造の父」「塔博士」とも称される。